

決算特別委員会

市政の詳細について

決 算特別委員会（議長、議会選出の監査委員を除く20人の議員で構成、委員長は萩野茂男議員、副委員長は織笠孝之議員）は、決算9件の議案について付託を受けて3日間の審議を行いました。
審議の結果、一般会計ほか8会計を全会一致で認定しました。

遠野市の財務指標の低さについて

問 財政力指数が0.28の中で、18億円程の予算で大きな事業を展開しているが、他市との比較評価は。
答 この財政力指数の数値は県内13市の中で最も低値である。計算根拠は、交付税を計算するための指標であり、基準財政収入額と基準財政需要額の

差額が交付税となる。今回の0.28は基準財政収入額に対して基準財政需要額が多く、この数値となった。この財政力指数が少ない為、交付税も多くなる計算となり、市政運営として一般会計の決算ベースで約18億円となっている、創意工夫でやってきた。

200円バスやデマンドバスの利用者増は

問 200円バスやデマンドバスの利用者増対策は。
答 200円バスに、福祉・中心市街地活性化低料金バス運行補助金として、約500万円が向けられている。このニコニコバスは評判が良く多くの市民に利用されている。毎日運行となると約700〜800万円の補助が必要となると思われるので今後検討したい。このデマンドバスは、

1年前に試行され現在本格的に運行されている。予約による効率的な運行がなされ、車両の小型化により安全性の確保や、狭い場所・地区への運行ができた。料金設定や新たな導入地区を検討し、利用者の増加を図りたい。

人口増対策について

問 子育て環境育成事業助成金はどのような基準で支払われているか。
答 ベビーホームに入所している児童の保育料の軽減のために一人一ヶ月5千円の支給、企業内託児施設の経費軽減のために年間一施設50万円を支援している。
問 当市の合計特殊出生率は県内では1.7人と高い。その要因は。
答 15才〜49才までの女性の出生率を表すものであ

り、人口減の中で分母が減ってきているのも一因と思われる。
問 長野県下條村は、出生率2.0を超えている。住宅を労働者に安く提供している。今後宮守町に安い住宅の提供は考えられないか。
答 子育て、生活、住宅、働く場、総合行政でやる。

無記名の燃えるごみ専用袋の取扱について

問 市指定のゴミ袋には、町名と区名と氏名を書くことになっているが、実態は、ほとんどの袋には記名がなされていない。一方で、例えば燃えないゴミ・粗大ごみの日に間違つて草刈り機械の刃などを持ち込んで、絶対に持つていかないが、なぜゴミ袋への無記名ものを回収するのか。徹底すべきと考えるがいかかがか。

答 現在のところは記名がなくても、回収業者が袋を外から点検して大丈夫であれば回収している。平成26年から中部広域の組織によりゴミを回収することになり、他市町村との兼ね合いもあることから、今後は燃えるゴミ専用袋に記名するよう徹底を図っていく。



ブルーベリーの選別作業風景